

# プレアボイド報告(未然回避報告) 平成26年度後期2月締め報告分

(一社)久留米三井薬剤師会、医療連携委員会で行っていますプレアボイド報告事例収集の平成26年度後期(2月末締切)集計が終了しましたのでご報告させていただきます。

後期は未然回避報告20例、重篤化回避報告2例、薬局ヒヤリ・ハット事例報告10例の報告がありました。

当薬剤師会では平成22年よりプレアボイド事例報告収集を行っていますが、5年目も無事に終わり多くの事例報告を頂きました。この事業は医薬品適正使用の推進と医療安全管理を目的としています。年々質の高い報告がなされるようになり薬局薬剤師の意識の向上にもつながっていると感じています。

久留米三井薬剤師会ホームページにも報告内容は掲載していますが、今回ホームページをリニューアルし、今まで以上に閲覧しやすくなり、年度別にも検索しやすくなっております。

是非一度覗いてみてください。

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法		
1	女性	84歳		糖尿病・類天疱瘡	処方箋監査	処方箋・薬歴	併用注意	マグラックス細粒	2g	朝夕食後	マグラックス細粒	2g	昼・寝る前	用法変更	2014/10/3
【報告者のコメント】大学病院内分泌科よりマグラックス細粒2g、2回朝夕食後で処方されたが、同病院皮膚科よりアクロマイシンV250mg2C、2回朝夕食後服用中、併用するとキレート形成によりアクロマイシンの効果が減弱する可能性がある為、マグラックスの用法の変更をDRIをお願いしたところ、2回昼食後・寝る前に変更となった。															
2	女性	67歳		パーキンソン病・うつ病	処方箋監査	処方箋	併用禁忌	エフピーOD2.5mg	1錠	夕食後	コムタン錠100mg	3錠	毎食後	薬剤変更	2015/2/12
【報告者のコメント】大学病院処方、他医院にてジェゾプロフト服用中、エフピーODとジェゾプロフトは併用禁忌の為疑義照会後、コムタン錠3錠に処方変更となる。患者様によるとお薬手帳は病院にてDRIにも提出したとの事。															
3	男性	34歳		低血糖症	薬剤管理指導	患者の訴え・相談	その他	クエチアピン12.5mg ジブレキサ2.5mg	1錠 1錠	寝る前 夕食後	ベゲタミンB レボトミン5mg	1錠 1錠	寝る前 夕食後	薬剤変更	2014/12/24
【報告者のコメント】2回にわたり疑義照会、11/18気分高揚・不眠にてクエチアピンの処方、患者本人より低血糖症の所見ある旨申し出有一DRIに問い合わせしベゲタミンBへ変更2回目12/24不眠が強い為ジブレキサ2.5mg追加処方、同様の理由によりDRIに問い合わせしレボトミン5mgへ変更となる。DRIは糖尿病ではないいつも低血糖になるわけではないのでクエチアピン・ジブレキサを使いたいのだが本人が拒否していると感じて変更になっている事例															
4	男性	57歳		糖尿病	薬剤管理指導	お薬手帳	その他							薬剤切替補助	2014/12/2
【報告者のコメント】他医院入院、DM、HT、精神障害等複数科、複数種の薬を一包化にて退院時に処方あり。残り数週間分ある時点で不眠の為、心療内科受診後精神障害の追加、変更指示あり、現在服用中の処方中止して切り替え指示を受けられた様子。投薬面談中に上記内容をお薬手帳にて確認、DM、HTの薬の継続は必要と考え、一包化から精神障害の抜き取り及び今回処方薬への切り替え方法について、同行家族も交えて指導した。本人様が一包化された薬全てを中止と思っていた為、お薬手帳での確認をしていなければDM、HTに影響が起きたかもしれない事例															
5	男性	60歳代		高尿酸血症	薬剤管理指導	お薬手帳・患者からの訴え	重複投与	ウラリット配合錠	2錠	朝食後	中止			薬剤中止	2015/3/2
【報告者のコメント】A医院よりウラリット配合錠のジェネリックであるウタゲン配合錠が処方されていたことが、お薬手帳で確認。B医院よりウラリット配合錠が処方されたため、疑義照会後ウラリット配合錠削除となり重複投与を回避することが出来た。															
6	女性	90歳代		高血圧・高脂血症・骨粗鬆症	処方箋監査	処方箋・患者の症状・訴え	誤転記・誤処方	フランドルテープ	40mg		レイナノンテープ	20mg		薬剤変更	2015/2/27
【報告者のコメント】狭心症症状もなく、血圧も正常である患者に、膝の痛みに対してフランドルテープが処方されていたので疑義照会後、レイナノンテープの誤りであった。															
7	男性	50歳代		高血圧・高脂血症・2型糖尿病	処方箋監査	処方箋	誤転記・誤処方	タナトリル5mg	2錠	朝夕食後	タリオン10mg	2錠	朝夕食後	薬剤変更	2015/2/23
【報告者のコメント】アジルバ20mg服用中。タナトリル5mgの処方が追加されており、治療上ARBとACE-Iの併用と考えられたが、併用注意の為、疑義照会。→類似名の選択ミスによる誤処方だった。															
8	女性	80歳代		2型糖尿病・高血圧・高脂血症・不眠症	その他	患者の訴え	誤転記・誤処方	ラクソロースゼリー	32.1g	朝夕食後	アーガメイトゼリー	50g	朝夕食後	薬剤変更	2015/2/27
【報告者のコメント】午前中、主処方元以外の医院からの処方箋を受け付けたが在庫がなかった為取り寄せて、午後からの調剤になった。患者家族の話ではカリウム値が高かったので処方されたとの事、検査データもカリウム値6.4だったので処方医に疑義照会したところ、アーガメイトゼリーに処方変更になった。															
9	女性	50歳代		パーキンソン病	処方箋監査	処方箋	併用禁忌	エフピーOD25mg リスベリドン1mg	2錠 1錠	朝昼食後	エフピーOD25mg	2錠	朝昼食後	薬剤中止	2015/2/27
【報告者のコメント】幻覚がみられるためリスベリドン1mgが追加になったが、エフピーOD2.5mgを服用することで幻覚症状が悪化するため禁忌となっている。処方医にその旨を報告、現処方様子観察との指示あり。リスベリドン1mg中止															
10	女性	30歳代			処方箋監査	処方箋	過量投与	クラビット500mg	3錠	毎食後	クラビット500mg	1錠	朝食後	薬剤減量・用法変更	2015/2/9
【報告者のコメント】大学病院からの処方箋が事前にFAXされてきた。大学病院からの処方箋は通常は患者に確認後に疑義照会を行うが、明らかに間違いの可能性があったため、直ぐに疑義照会し患者が来局する前に確認が出来た。クラビット500mg3錠をクラビット500mg1錠へ変更															
11	女性	60歳代		リウマチ	処方箋監査	処方箋	誤転記・誤処方	リウマトレックス フォリアミン		28日分 28日分	リウマトレックス フォリアミン		4日分 4日分	処方日数変更	2015/2/19
【報告者のコメント】リウマチ治療4週間処方に対して、週一回服用のリウマトレックスとフォリアミンが28日分処方されていたため、疑義照会にて4日分へ変更となった。															
12	女性	50歳代		歯科治療	調剤	患者の訴え・相談	重大な副作用	セフゾン100mg	3P	毎食後	クラリス200mg	2T	朝夕食後	薬剤変更	2015/2/26
【報告者のコメント】歯科治療でセフゾン(100)が処方されていたが、患者よりセフゾン服用により、めまいがひどくおこった事があるとの訴えがある。かかりつけ医からも、喘息もちであるし抗生物質を服用するときにはクラリスを飲むよう指導されていた。歯科医にその旨報告し、薬を変更してもらった。															
13	女性	75歳		認知症・喘息・高血圧等	処方箋監査	お薬手帳・患者からの訴え	禁忌	コンプト配合点眼液	5ml	2回点眼	エイゾプト懸濁性	5ml	2回点眼	薬剤変更	2015/3/4
【報告者のコメント】当患者は認知症であり、来局時にはお薬手帳を忘れ、血圧と胃の薬のみ併用しているとの事だったが、後日家族の方と来局、お薬手帳を確認後、現在喘息の治療中であることが判明、DRIに照会後、β-ブロッカーであるコンプト配合を中止してエイゾプト懸濁性に切り替えるように指示を受けた。高齢の患者が一人で来局した場合、現疾患・既往歴・併用薬・服薬指導について十分な注意が必要。															
14	男性	74歳			薬剤管理指導	薬歴・患者の症状	誤転記・誤処方	バルサルタン錠80mg	1錠	朝食後	バルサルタン錠40mg	1錠	朝食後	薬剤減量	2015/3/9
【報告者のコメント】病院側の処方箋入力が商品名から一般名に変わった際の規格間違いだった。バルサルタン40mg1錠で血圧が安定している患者だったので、増量に疑問、念のため疑義照会し処方訂正となりました。薬歴に毎回血圧を記録し推移が把握できていたのが良かったです。															
15	男性	60歳代			処方箋監査	お薬手帳	同種同効薬重複	クラリスロマイシン ネキシウムカプセル	200mg 20mg	寝る前 寝る前	エンピナース錠 ネキシウムカプセル	18000 20mg	毎食後 寝る前	薬剤変更	2014/12/5
【報告者のコメント】新患。クラリスロマイシンが処方されていたが、お薬手帳によリジスロマックを3日間服用していたことが判明。患者に確認すると昨日まで服用していたため、疑義照会後にクラリスロマイシンは削除となり処方変更となった。															

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法		
16	男性	60歳代			調剤監査	患者の訴え・相談	併用禁忌	ザルティア錠 ベタニス錠	5mg 50mg	朝食後 朝食後	ユリーフ錠 ベタニス錠	8mg 50mg	朝夕食後 朝食後	薬剤変更	2014/10/2
	【報告者のコメント】ザルティア錠5mg初処方。硝酸剤が禁忌であったことからお薬手帳には記載なしであったが服用していないか確認。屯用でニトロー錠5mgを服用中であることが判明したため疑義照会を行い、今までのユリーフ錠に処方に戻る事になった。														
17	男性	70歳代			調剤監査	お薬手帳	併用禁忌	トラマールカプセル	25mg	夕食後	中止			薬剤中止	2014/9/3
	【報告者のコメント】トラマールカプセル・牛車腎気丸・センノシド処方、トラマールカプセルは今回初処方。併用薬にMAO阻害剤のエプピーODがある事をお薬手帳にて確認。作用増強により併用禁忌の為疑義照会を行い削除となる。														
18	男性	71歳				薬歴	同種同効薬重複	ロキソプロフェンNa リマルモン錠5ug	3錠 3錠	毎食後	中止			薬剤中止	2015/3/5
	【報告者のコメント】H25年頃から定期処方でもロキソプロフェンNa錠60mg、リマルモン錠5ug、アチネス錠50mg処方されているにも係らず、同一院内で、他症状受診とはいえ同じ薬が処方されているので、かかりつけ薬局の必要性和薬局の薬歴管理の重要性を再認識しました。他の薬局に行かれていたら防げなかった可能性もあるのでは？														
19	男性	82歳		前立腺肥大	処方箋監査	お薬手帳	同種同効薬重複	コニール錠4mg	1錠	朝食後	コニール錠4mg	1錠	血圧が高い時	投与方法変更・服薬指導	2015/2/27
	【報告者のコメント】コニール錠4mgの処方があったが、他医院でオルメテック20mg、アムロジピン5mgが追加処方されたばかりで、以前から飲んでいるザラス配合錠HDも含めCa拮抗剤が3種類となる為疑義照会を行った。患者が他医院からもらった血圧の薬の事をDRIに話していなかった為に追加処方されたことが分かり、血圧が高いときに服用する頓服に用法変更となった。お薬手帳の確認で重複投与を防止														
20	男性	66歳		肝機能障害・尿酸		お薬手帳	同種同効薬重複	タリオンOD10mg	2錠	朝夕食後	中止			薬剤中止	2015/3/7
	【報告者のコメント】花粉症の症状でタリオンOD10mg他処方があったが、お薬手帳にて皮膚科でアレロック5mgを服用中であること確認、疑義照会後タリオンOD10mgが処方削除となった。														